

# 情報リテラシー（第3回）

## 情報を取り扱うルール・マナー

### 授業の目的

本日の授業では、以下の点について学ぶ。

- 情報とは何かを理解する。
- 情報の特性（残存性・複製性・伝搬性）を学ぶ。
- 情報特性がトラブルを引き起こすことを実感する。
- 情報を正しく扱うために、モラル（心がまえ）が必要だと気づく。

# 次のうち、「情報」と言えるのはどれ？

- A. 天気「晴れ」
- B. 2という数値
- C. 先生が教えてくれたテスト範囲
- D. 画像データそのもの

➡ 自分の考えをメモしてみよう

# 情報とは？

- データ：実験や調査などによって得られる事実や数値そのもの（例：2, 5, 晴れ）
- 情報：データに意味が加わり、行動の判断材料になる事柄（例：明日の降水確率は20% → 洗濯できそう！）
- 知識：情報を分析して問題解決に役立つように体系化したもの（例：「降水確率が高い日は傘が必要」と判断できる）

➡ 情報は「C. 先生が教えてくれたテスト範囲」、それ以外はデータ

# 情報の特性（キーワード）

- **残存性**：一度発信した情報は完全には消せない
- **複製性**：コピーが簡単にできる
- **伝搬性**：一気に広がる可能性がある

# 演習①：身近な「情報」を考えよう

- 最近あなたが得た「情報」は？
- それはどんな特性を持っていた？

➡ ハンドアウトに記入

# 情報特性がもたらす課題

- LINEで送った画像，実は残っている？（残存性）
- 仲間内のスクショが拡散された！（複製性）
- 1つの投稿が炎上に？（伝搬性）

## 情報モラルとは？

- 情報社会で適切に行動するための「心がまえ」
- 相手への思いやり，ルールを理解，自分を守る行動

## 演習②：次の状況で、あなたならどうする？

SNSで友達が写真をアップ．自分が写っていて恥ずかしい...

- 削除をお願いする？
- コメントで注意する？
- 他の方法は？

# まとめ・振り返り

## 本日の重要ポイント:

- 情報とは意味のあるデータである
- 残存性・複製性・伝搬性という特徴がある
- 情報モラルはその特性をふまえた「心がまえ」